

平成 29 年度 苫小牧市公民館運営審議会・図書館協議会 定例会議

平成 29 年 6 月 2 日（金）午後 1 時 30 分

苫小牧市立中央図書館 2 階講堂

【議事】

事務局 それではこれから議事の進行となります。これより議事進行を種田会長にお願いいたします。

議長 皆さまこんにちは。苫小牧市立明倫中学校校長の種田と申します。苫教研の学校図書館部会の部会長をしておりますので、このような役を仰せつかっておりますけれども、さほど力もないのにこのような会長という役を仰せつかり若干プレッシャーを感じているのですが、なるべくざっくばらんにみなさんのご意見を聞いていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速議事をすすめてまいりたいと思います。会議終了時刻は 15 時をめどに考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、最初に（1）勇払公民館の運営について、①平成 28 年度事業報告と②平成 29 年度事業計画について、まとめてご説明をお願いいたします。

< 以下勇払公民館館長より資料に基づいて説明 >

議長 ありがとうございます。只今説明のありました勇払公民館の運営について、ご意見やご質問がありましたら挙手願います。

委員 昨年も質問をさせていただいたのですが、勇払公民館の運営を見ると公民館単独で考えた方が良いのか、それとも他のコミセン、アイビープラザ等の類似のものと一緒にやった方が良いのかを時間をかけて考えていただけたら良いのではないかと質問させていただいたと思うのですが、単独で勇払公民館の審議会である理由があれば教えていただきたい。またそれらの施設と審議会を統合されることがあるのかを教えていただきたい。あと、もう一つ、二つあるのですが、一つ勇払公民館が指定管理になっているのかどうか教えていただきたい。あともう一つは勇払公民館の活動自体について、もう少し詳細についてやっている会議、会合等が他にあるのか、それともここで話し合われたことがすべてになるのか。例えば予算だったりとか活動内容についての話しは他の場面で何かやっていることがあるのかどうかについて教えていただきたい。

公民館 公民館につきましては市の条例で公民館独自の条例をもっております。その中で審議会について条例で定められておまして、コミセンとは別の施設として考えられております。他の会議、会合等につきましては、年度末に教育委員会の委員のみなさんに説明するような機会が例年 3 月にごございます。その中で事業内容につきまして説明をさせていただいております。指定管理につきましては、ほかの市町村では指定管理でやっておりますが、苫

小牧市につきましてはまだ、規模が小さいということもあり公民館は指定管理になじまないと現在に至っております。

委員 わかりました。条例に則って審議会があるということですね。理解いたしました。ただ、他の類似の施設と色んな事業とか類似のものがあるんですね、バランスをみる時に他とちゃんと比較しながらやった方が良いと思うので、単独でこのようにあがってきてもお金の使い方や事業、人数についてバランスに合ったものなのかどうか少しわかりづらいというのが正直な感想です。一つだけ見せられても他とのバランスの中で良いものなのかわかりづらいので、何か工夫をしていただけるといいなと思います。

また、私たちが、運営に対して責任を持つとなると、震災時、津波の時などの安全管理体制はどうなっているのかというのが非常に気になる。そういうものは何かあるんでしょうか。避難のしくみとか管理人がどう動くかなどどうなっているのか気になりました。

あと収支は出さないのでしょうか。支出の話はありましたが、当然利用料が入っているはずなのですが、普通予算決算であれば収支と出るはずなのですが、市の場合は利用収入は特に表記しないとなっているのでしょうか。収支バランスという感覚が少し無いのではと思いました。さらに言えば備品類が他と比べてどの程度揃っているのか過剰なのか、もしくは少ないのかというあたりも正直わかりづらいので、もし今後も単独で協議していかなくてはならないのであれば、そのあたりがもう少しわかりやすい資料をつくってご説明いただけるとありがたいと思います。急遽出した意見なので次回に活かしてもらえたらと思います。

公民館 ひとつだけ、津波の避難につきまして、公民館自体は避難所にはなってはいませんが、毎年津波ではないですが、火災の避難訓練を年2回実施して、それを参考に行ってまいりたいと考えております。消防法の関係で年2回実施しなさいというような条例がありますので、それに従って訓練しております。

委員 例えばここで津波の情報があった時に管理人の方が利用している人に「どこに逃げなさい」というところまで決まっているのでしょうか。

公民館 勇払地区の避難場所につきましては3か所ございまして、まず日本製紙の住宅5階建の建物と小中学校の2校それぞれが津波の避難場所になっております。避難勧告が出ますとJアラートというのでしょうか、それぞれご家庭で持っているかと思うのですが、防災ラジオだとかメール関係で避難する形になっていると思います。公民館には防災無線がついてございます。災害時には館内に流して私ども職員がいる場合はそちらで対応します。土日は管理人がいるので管理人さんが対応します。

委員 はい。ありがとうございます。審議会の中でしっかりやらなければいけないとお話をいただいたというふうに理解したものですから、それを判断するのに色んな情報がもう少し必要だなと思いましたので、よろしく願いいたします。

委員 予算決算についてですが、予算が資料3ページのところに出ていまして、公民館の活動費が28年度よりも下がっていて、29年度の額というのは28年度の決算額を参考に29年度の予算を組んだのか、大体同じくらいになっているので、その様にみえる。一方2ページを見ると、活動状況というのが、さきほど件数も人数も増加しているという話がありましたよね。そうすると29年度もさらに増えるという予想をするのであれば、昨年度の決算額で予算を組んでしまうと不足するように思うのですが、今年度の活動については昨年度並みで、もう増えないと予想の上で予算をたてたのか、その辺はどうなのでしょう。教えていただけますでしょうか。

公民館 活動費につきましては、例年若干多めの予算を組んでいるんですが、基本的には講座の講師の方々の報酬につきましては回数と同じにとってございまして、それほど3万5千円減ったところで支障をきたすものではございません。講座に使います材料については受講生の方から徴収いたしまして、それを元に材料を買って手配する形をとっております。その他に先生方の1回の講習料は先生方の交通費などある程度固定されておりますので、前年よりも予算額が若干減りましてもやっつけられると思っております。

委員 平成29年度の事業予算についてなんですけれども、資料4ページを見ますと、市民の自主学習活動の推進の事業名に②図書コーナーの利用促進が含まれているんですけれども、この予算がゼロ、ゼロということよろしいですか。図書の新規購入は1冊も考えていらっしゃるということでしょうか。

図書館 図書の購入につきましては、中央図書館で選書して購入しております。

委員 勇払には図書の購入にどのくらいの予算があるのでしょうか。

図書館 勇払は年間で35万円程度となっております。

委員 意見なんですけれども、定期講座と機会講座に21万3千円ということで、講師料と材料費でしたか。

公民館 材料費はですね、受講生の方からいただく形となっております。基本的には講師の報酬と交通費、テキスト代、雑費として先生方から依頼される資料のコピー代等が含まれております。

委員 すごく単純な質問なんですけれども、講座の内容が昨年、一昨年も同じような内容だったと思うのですが、そんなにニーズというか、パンをつくったり、骨盤体操は人気があるのでしょうか。他のニーズは無いのでしょうか。

公民館 ここ何年か同じような講座内容ですが、受講生の応募がいらっしゃいますので、それで同じような講座にしているというような状況です。

議長 新しい方なのですか。リピーターではなく、新規の方が多いということでしょうか。

公民館 そうですね。ほとんどが新しい方です。

委員 他の要望とかはないんですか。こういうのをやって欲しいとか。

公民館 要望はないです。

委員 アンケート取るなり、何かやられるといいんじゃないですかね。

公民館 以前にアンケートはとっていると思うのですが、その結果については現在手元にないので、はっきりとは言えないのですが、利用についてのですね、講座も含めましてアンケートを確か取っていると思います。その中身を見て検討させていただきたいなと思うんですけども。公民館自体、勇払という場所が離れているということもございますので、回数が限られますので我々も苦勞しております。

委員 講座というのは1回あたりの人数であって、これを何回か実施しているんですか。

公民館 講座はですね、月毎に週1回5月6月とやっております。昨年は一講座は講師を含めて7～8人となっております。15人というのは予定人数、応募人数でございまして、それ以上超えますと先生方も手を余すというのですか、目が行き届かないということもございまして、応募受講者は制限といたしまして15名が上限となっております。

委員 それを何回もやっているということですか。

公民館 月毎に5月6月と後期は8月から10月と3か月ですね。

議長 やさしいパン作りが5回で、からだすっきり骨盤体操が6回というご説明でしたけれども、これは同じメンバーで6回やるということでしょうか。

公民館 そうです。1回ごとに授業内容が変わってきますので。

委員 そうすると受講者1人あたり1万円ぐらいの予算を使っているということでしょうか。

公民館 先生方へは一講座の講師料と交通費が入りますので、その近くにはなるのかと思います。

委員 受講者の人数じゃなくて、先生に対する謝礼でしたね。わかりました。

< 承認 >

議長 続いて（２）中央図書館の運営について、①平成 28 年度事業報告と②平成 29 年度事業計画について、まとめてご説明をお願いします。

< 中央図書館館長より資料に基づいて説明 >

議長 ありがとうございます。只今説明のありました中央図書館の運営について、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

委員 すみません、この後詳細な説明はあるのでしょうか。

議長 中央図書館の点検と評価の部分でさらに詳細な説明が入ってきます。

委員 アンケート評価で非常に満足度が高くて、活動が立派だなと思いました。せっかくここまで高いので、どこかさらに上げるところがないのかなと思って見ていたら、こちらの反省、まとめにも書いてあるんですが、館内のどこに何があるかわかりやすいですかという項目が確かに前年と同じように他に比べると低いんですよ。満足とやや満足が他は大体満足が高いんだけど、これが逆転してて。確か、わかりづらいということで前はサイン、表示とか直されたんですよ。追加されて、やったんだけど、結局また残念だけど同じようなことになってるんだけど、何がわかりにくいんですかね。

図書館 具体的に、私どもも率直なところを申しますと、どういうところなのかというところがありまして。図書館の独自の本の並びというところなのか、十進分類法というところで決まってはいるのですが、法則が、本の並びがわかりづらいのか、何がどこにあるかわかりづらいのかというところで、前回の所は説明は貼ってはみたのですが、具体的なおところはつかめていないというところなんです。そういうところでご意見箱で何かしらあればと思うのですが、そのところで細かく入ってこないんで、そのところ正直申しますとちょっと詰まっているという状況です。

委員 去年対応しているのに上がっていないから、なんだったのかなと思いながら、難しいですよ。今度、何ですかと聞かなくちゃならないですよ。

図書館 そうですね。細かい、私ども独自で行っているアンケートの時に聞いてみてもいいかもしれないです。昨年度は郷土資料室、電子図書館の利用についてももう少し聞いてみたいというところがあったので、今年はそのところを聞いてみたいと思います。

委員 アンケート見ても職員さんの対応、挨拶のところがすごく良かったりとか、ぜひ今後も頑張ってくださいねと思います。

図書館 ありがとうございます。

委員 さきほど、今年度の関連事業で昨年イクメン講座があったんですけども、今回イクメン講座をなくして、マタニティになっていますよね。イクメンはやめちゃうんですか。

図書館 今のところは予定していません。

委員 図書館で子どもの読みきかせをしているんですけど、お父さんといらっしゃる方がすごい多いんですね。お母さんとじゃなくて、お父さんとお子さんというのが多いので、このイクメン講座がもうちょっと続いて、継続的になったらいいだろうなと思いながらみてたんですけども。

図書館 確かに、定員は残念ながら満たすことはなかったのですが、実際おいでになった方からは大変好評をいただきまして、こういう手応えもあるのだなと思ったのですが、今回、今年の場合は元々計画にもございましたマタニティの方を優先しましょうということになりました。イクメン講座については予定はしていませんけれども、そういうふうな現状があったということでお教えいただきありがとうございます。アプローチをちょっと変えてみようかなというところで思っておりました。

議長 生まれてから健康こども部とかと連携してやっているブックスタート、恵庭とかが有名ですが、実際に妊娠をされているお母さん方を対象にした読みきかせ、マタニティ講座みたいなものは色んな所でやられている事業なんですか。

図書館 やっている自治体はありますね。お腹にいる時の声掛けとか、実際に生まれる前にこういう本があるんだとか知っていただくことによって、生まれた後の準備とか、そういう段階からお話できるといいなと考えているところです。

委員 図書館に来るといつも快く対応していただけて気持ちよく利用させていただいている者の一人です。この議題の中で話すことではないかもしれないのですが、図書館に足しげく足を運ばれたり、講座などに積極的に参加されるご家庭は心配はないのかなと思うんですけども、なかなか対極化しているというか、読書に対して各家庭の考えに格差が生じているのかなというのがいつも気になっております。市民全体の読書活動の底上げというのも今後一緒に考えていければいいなと思っております。よろしくお祈りします。

図書館 ありがとうございます。よろしくおねがいします。

< 承認 >

議長 続きまして議題の（３）中央図書館の点検と評価にまいりたいと思います。中央図書館長の説明の前に、私の方から評価シートの取り扱いについてお話をさせていただきたいので、よろしくお祈りします。

今年度の点検と評価については、資料とともに事前送付された「苫小牧市立中央図書館 中期計画期中評価表」を元に評価シートに記載するかたちで行い、協議会の意見として総評を付した上で公表したい旨、図書館長より申し入れがございました。

それで、この評価シートを取りまとめて総評を作成するのですが、まず私の方で目を通しまして、意見をまとめて総評案を作らせていただきます。その後、委員の皆様以案を送付し、承認していただくか否かの意思判断を郵送で行ってまいりたいと思います。全員の承認をいただいたものを図書館長に提出する、という流れですすめていきたいと考えておりますが、この方法について異議はありませんでしょうか。

< 承認 >

それでは異議なしとのことで、私の方で意見のとりまとめをいたしますので、通知のとおり、後日事務局に提出していただければと思います。

それでは議事を進めます。吉見館長、ご説明をお願いいたします。

< 中央図書館長より資料に基づいて説明 >

議長 ご説明ありがとうございました。只今説明のありました中央図書館の運営について、ご意見やご質問はありますか。

< 質疑応答 >

委員 基本的なことを確認したいのですが、この表の中にアウトカム指標というのがありますよね、これは年度の目標ということでしょうか。その下にある基本計画成果指標というのは最終年度までの目標値にいまどこまで達しているかということですね。

図書館 はい。

委員 昨年度はちょっと低くてもトータルですでに達成しているものもありますよね。それであれば割と良いというふうにみて良いのかなと思うんですが。それで間違いないでしょうか。

議長 そうですね。

委員 基本計画の成果指標の達成率というのは、結局平成 30 年度で 100%になるのをある意味狙っているので、いま 100%じゃなくても進行中と思ってみれば良いということですよ。具体的に平成 28 年度の目標値があるわけではないんですよ。

図書館 目標値については平成 30 年度までに、ということです。

委員 平成 24 年の基準値と平成 30 年の目標値があつて、平成 28 年度までの状況を見て評価をすれば良いわけですね。

委員 記載されている奉仕人口というのは何の数ですか。教えてください。

図書館 苫小牧市の人口になります。

議長 他よろしいでしょうか。なければ、次に議題「その他」として皆様から何かありましたらお願いいたします。

< 承認 >

議長 なければ、本日の議事について終了させていただきたいと思います。皆様のご協力ありがとうございました。以上で議事を終了したいと思います。進行を事務局にお返ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

事務局 種田会長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様もご多忙の中お時間を頂きありがとうございました。以上を持ちまして本日の審議会・定例会を終了させていただきます。皆様本日はありがとうございました。

閉会 (午後 2 時 30 分)

< 出席者 >

○委員

種田 直章 会長
深澤 治稔 副会長
一谷 誠子 委員
伊藤 博之 委員
久保田 眞知子 委員
松井 慶子 委員
村本 充 委員
八島 恵利子 委員

○事務局

生涯学習課長
同 主査
同 主事
同 主事
勇弘公民館館長
中央図書館館長
同 副館長

< 欠席者 >

○委員

鈴木 一恵 委員
藪田 美枝 委員